



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年10月18日
文責：校長 江上 知男



交流の様子

5年生が「水俣病」で学ぶ！

「5年生にきちんと『水俣病』と出会わせたい！」という担任の強い思いから、機器を使ったりリモートで、4人の胎児性水俣病患者の方々との交流を行いました。

4人の自己紹介の後、ご自分の経験をそれぞれお話いただきました。そしてエコバッグ作りや歌で交流しました。子どもたちからは、「差別にあっても一生懸命に生きてこられたのがすごい」「障がいがあっても頑張ろうと思う気持ち

がすごい」「自分の夢に向かってあきらめないでいられるのがすごい」等々の感想がありました。

「水俣病」についてはご存知の方も多いと思いますが、チツソという水俣の工場が処理せず海に流したメチル水銀を原因とする「公害病」です。メチル水銀は、魚や貝を経てそれを食べた人間の中枢神経(脳・脊髄)を破壊し、多くの人の命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりしました。また、母親の胎盤を通して生まれながらに障がいをもつ胎児性患者を生みました。

今年で公式確認から65年という長い歳月を経た今も、多くの被害者が病に苦しみ、差別や偏見に傷つき、裁判が続いている現実があります。命や健康よりも経済成長を優先する社会構造のゆがみを象徴するかのごとく起こった「水俣病」問題は、決して「過去の出来事」ではなく、今を生きる私たちにも、いろんなものを突きつけます。例えば、「地球温暖化の問題」や「SNSによって起こる様々な問題」は、「根っこ」の部分と同じように思えます。

5年生は今回とても貴重な経験をしました。子どもたちには、「実は似たようなことは身の回りにあり、学んだことを活かす必要がある」ことに気付く感性を育てて欲しいと願っています。

小坂小PTAや地域からいただきました！

運動会の時期に合わせ、PTAから「リアカー」「一輪車のタイヤ



植え方指導

5本」を寄贈いただきました。リアカーは積載量200kgと、お相撲さんが乗っても大丈夫なほど頑丈なものです。貴重なPTA会費から買っていただいたものですので、大切に使用させていただきます。全ての保護者の皆様に感謝します。



200kgOK！

また、東小坂地区の宮本様(昨年度まで小坂区長)からは、「葉ボタンの苗50本」をいただきました(毎年いただいています)。植え方まで丁寧に教えていただいたので、これから校門や校舎周りに植えていきます。来校の際は、是非ご覧ください。

小坂小学校は「地域とともにある学校」です。今回は「物」をいただきましたが、実は「地域の学校を思う心」をいただいたのだと感じています。そのようなつながりが、学校を元気にします。

「ミシンの先生」がやってきた！

10月14日(木)の6年生家庭科の時間に、地域の方4人が来校され(田原さん・小夏さん・川添さん・中村さん)、ミシン指導のサポートをしていただきました。40人を1人の担任で教えるのは到底ムリで、サポートがあつてこそその授業です。子どもたちも元気ですが、それ以上に4人の先生方も元気で、家庭科室は「明るい声」に満ち溢れていました。ありがとうございました。



真剣！